

日本国憲法・教育基本法  
学校教育法・学習指導要領  
県教育振興基本計画2025  
県教委 指導の指針  
芳賀教育事務所「芳賀の教育」  
益子町教育目標・まじ絵計画



◆ 学校教育目標・目指す児童像・校心

【学校教育目標】

学ぶ  
鍛える  
思いやる

【目指す児童像】

自ら学ぶ子  
たくましい子  
思いやりのある子

【校心】

なかよしの心  
なすとげる心  
いたわりの心

◆ 児童・地域・保護者の実態や願い

- (1) 児童は明るく元気で、休み時間は学年関係なく外遊びを楽しむ様子が見受けられる。今後はさらに自主性や積極性、粘り強さ等を育ていきたい。また凡事徹底を呼びかけ支援したい。
- (2) 地域は、学校周辺は住宅増加傾向にあり幹線道路も多く交通安全面における心配があるが、学区全体としては農村地帯で閑静な地域である。
- (3) 地域住民や保護者は、学校への関心が高く協力的。学校行事を楽しみにしている。

◆ 学校経営の基本方針

- (1) 学習指導要領の趣旨や内容等を十分に踏まえ、児童の発達の段階を考慮しながら知・徳・体をバランスよく育むための教育課程の編成・実施に努める。
- (2) 学校教育活動全体を通じ、心身ともに健康で安全な生活態度の育成に努める。
- (3) 教職員一人一人が自分の職務に誇りと自信をもち、個々の強み(学校組織)を生かした熱意あふれる教育の展開に努める。
- (4) 家庭及び地域等との連携の下、信頼される学校づくりに努める。
- (5) 健康管理や勤務時間を意識した「働き方改革」の推進に努める。

◆ 目指す学校像

- (1) 「子どものための学校」①安全・安心の確保②学力の保証③よりよい集団づくり(心を育てる実践)
- (2) 「地域に愛される学校」①保護者・地域との信頼関係の深化
- (3) 「教職員の意志・実践の尊重」①工夫改善のある実践②個々のもつ強みの発揮③納得のいく仕事の積み上げ
- (4) 「専門職としての力量の向上」①自己研鑽と示範②尊重し合う・協力し合う③明るさ・温かさの発揮

～マンダラチャートによる意識化～

◆ 今年度の努力点と具体策(○重点)

(1) 「生きて働く確かな学力」を育むための学習指導の充実

- ① 授業の充実(めあてと振り返りの工夫、ICT機器の効果的活用やTTによる効果的指導等による個別最適な学びと協働的な学びの保障)
- ② 自ら学ぶ学習習慣の確立(効果的な家庭学習や自己採点、保護者への啓発等)
- ③ 個別指導・支援の充実(通級、スマイル教室、TTによる効果的指導等)
- ④ 漢字力、計算力向上のための指導の工夫・改善(ICT機器の効果的な活用等)
- ⑤ 外国語及び外国語活動の充実(専科教員との連携)

【数値目標】◇学習内容がよく分かる ◇進んで学習に取り組んでいる  
◆個別指導の充実 ◆学力が向上した 等の項目が80%以上

(2) 「たくましく生きる気力と体力」を育むための健康・安全教育の充実

- ① 教科体育、体力向上の指導の充実(結果活用や補強運動の工夫、集会・共遊の推進等)
- ② 食育指導の充実(栄養教諭との連携指導、給食指導や衛生・安全管理の徹底等)
- ③ 生活・交通・災害安全等の指導の充実(各種避難訓練、感染症等対策、危機管理マニュアルの活用)
- ④ 教育相談の充実(定期期間の設定やアンケート分析、SSWやSCとの連携等)
- ⑤ 生活リズム確立の指導の工夫・改善(セーブメディアデーの活用と啓発等)

【数値目標】◇命を守るためのルールを守っている ◇進んで運動に取り組んでいる  
◆教育相談の効果的実施 ◆体力が向上した 等の項目が82%以上

(3) 「優しさと思いやり」を育むための心の教育の充実

- ① 校心「なないの心」の意識化と日常的な実践(帰りの会やアンケートによる振り返り、発表等)
- ② 読書活動の推進(学校司書や読み聞かせボランティアによる読み聞かせ実施、読書タイム活用、家読の推奨、図書ボランティアの呼びかけ等)
- ③ 響き合うあいさつ、温かい言葉遣いの実践(あいさつ運動、ふわふわ言葉の実践等)
- ④ 芸術鑑賞、交流学习、宿泊学習等の豊かな体験活動の充実(150周年行事、益子特別支援学校との交流等)
- ⑤ 縦割やまぶき班活動の工夫・改善(共働、共遊、共感の場の設定と実践)
- ⑥ 「道徳」の授業の充実(授業公開や共有、ゲストティーチャーの活用等)
- ⑦ 清掃の充実(目的意識をもったの作業、愛校心につながる取組を)

【数値目標】◇学校が楽しい ◇元気にあいさつや返事ができる  
◆環境整備の充実 ◆凡事徹底 等の項目が85%以上

(4) 地域に信頼される学校づくりの推進

- ① 迅速な情報の発信(各種たより、ホームページ、Googleクラスルーム活用等)
- ② 地域の教育力の活用(各種ボランティアとの連携、学校運営協議会への移行等)
- ③ 教育活動への保護者等の参加・協力(授業ボランティア、引率ボランティア等)
- ④ 各種評価を生かした学校経営(マンダラチャート、自己評価、保護者・児童アンケート、学校関係者、評価結果を踏まえたPDCA実践)

(5) 教職員個々のよさの発揮と参画意識の高揚

- ① 教師力向上を目指す研修の充実(研修会の主体的参加と内容等の共有)
- ② 教職員評価制度の充実(各種面談の確実な実施と目標設定・評価の工夫)
- ③ 居がいのある職場環境づくり(風通しのよい雰囲気醸成、働き方改革推進等)

◆ 目指す教師像

- (1) 明るく生き生きとしている教師
- (2) 誠実で人の心を大切にしている教師
- (3) 一人一人に分かる授業をする教師
- (4) 夢や希望をもたせる教師
- (5) 子どもと信頼の絆で結ばれている教師
- (6) 保護者や地域との信頼関係を大切にしている教師
- (7) 研究と修養に努め仲間と共に伸びる教師

～子どもにとって最大の教育環境は「教師」である～



認めて、褒めて、励まして、信じて  
待って、見届ける 教育環境に!